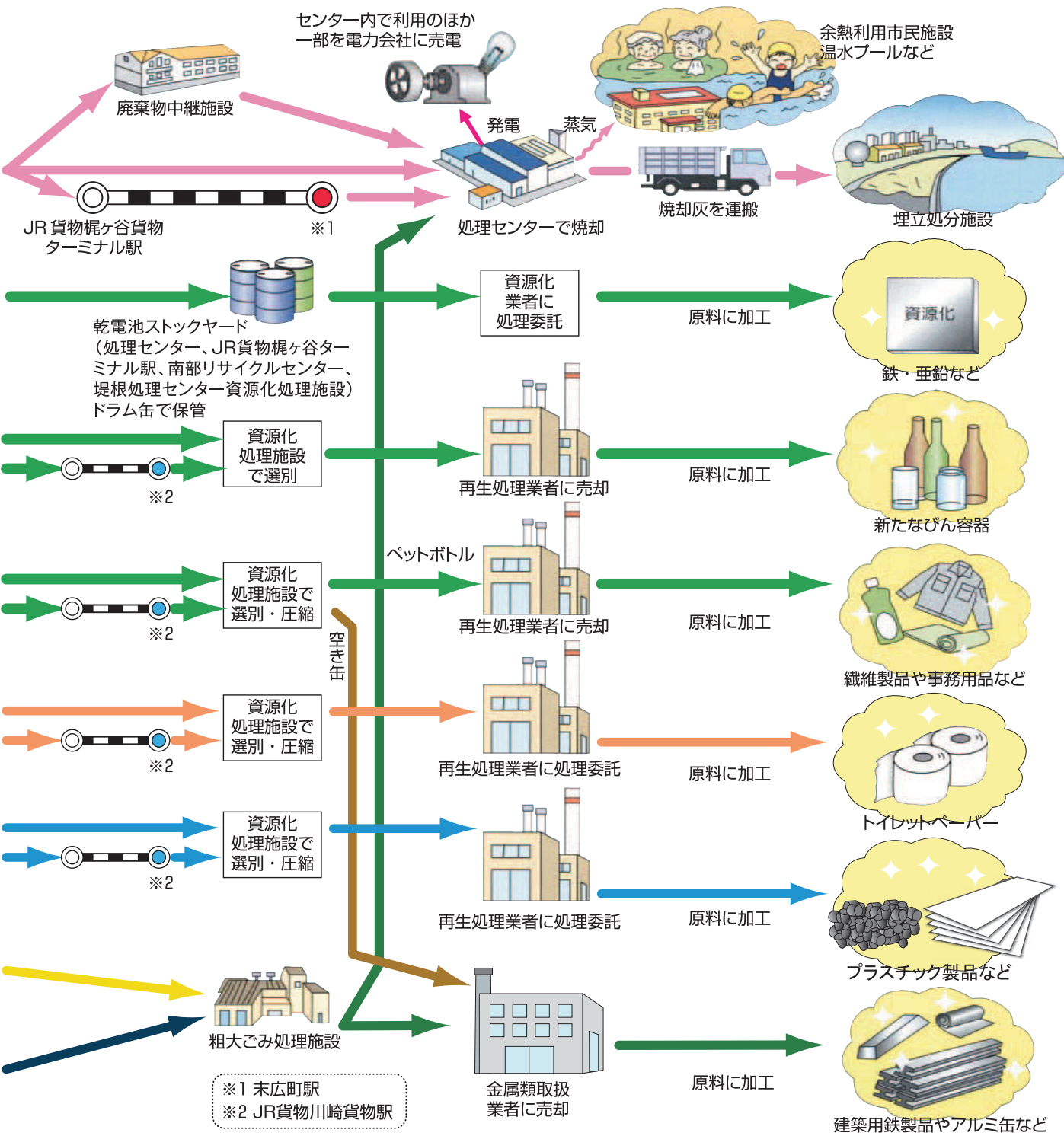


【問2】 次のうち、川崎市が全国で初めて導入したごみの輸送方法はどれでしょう？

- ① バイク輸送 ② 空路輸送 ③ 鉄道輸送

(答えは4ページ下)



環境関係施設配置図

- 焼却施設
 - ① 浮島処理センター (処理能力900t/日)
 - ② 堤根処理センター (処理能力600t/日)
 - ③ 橋処理センター (処理能力600t/日)
 - ④ 王禅寺処理センター (処理能力450t/日)
- 生活環境事業所
 - ⑤ 南部生活環境事業所 (川崎区塩浜4-11-9)
 - ⑥ 川崎生活環境事業所 (川崎区堤根52)
 - ⑦ 中原生活環境事業所 (中原区中丸字155-1)
 - ⑧ 宮前生活環境事業所 (宮前区宮崎172)
 - ⑨ 多摩生活環境事業所 (多摩区杉形1-14-1)
- 資源化処理施設
 - ⑩ 南部リサイクルセンター (空き缶・空きびん・ペットボトル)
 - ⑪ 堤根処理センター-資源化処理施設 (空き缶・空きびん・ペットボトル)
 - ⑫ 浮島処理センター-粗大ごみ処理施設 (粗大ごみ・小物金属)
 - ⑬ 橋処理センター-粗大ごみ処理施設 (粗大ごみ・小物金属)
 - ⑭ 浮島処理センター-資源化処理施設 (ミックスペーパー・プラスチック製容器包装)
- 廃棄物中継施設
 - ⑮ 加瀬クリーンセンター (処理能力300t/5H)
- 動物死体処理施設
 - ⑯ 浮島処理センター-動物死体処理施設 (犬及び猫等)
- 埋立処分施設
 - ⑰ 浮島2期廃棄物埋立処分場 (埋立容量2,673,500m³)
- 余熱利用市民施設
 - ⑱ 王禅寺余熱利用市民施設 (ヨネティエー王禅寺)
 - ⑲ 堤根余熱利用市民施設 (ヨネティエー堤根)
- 普及啓発施設
 - ⑳ 橋リサイクルコミュニティセンター
 - ㉑ かわさきエコ暮らし未来館

【問1】の答え ①・・・平成15年度は1,308gでしたが、市民の皆様のご協力により、302gの減量を達成しました。